

ばならぬものと云ふ考を成るべく世間の家庭に擴げたいものである。今日の幼稚園の保育法と云ふものを一方では幼稚園内だけで充分に改良すると云ふことも肝要でありますけれども、之を世間に普及して家庭に於ての子供の遊び方の中にも此保育法の精神をば入れるやうにしたいと私は希望するのです。現在の日本の社會に必要な事は、保育法の普及と云ふことにあらうかと思ひます。世の母親には一つの課題として子供の遊ばせ方と云ふ事は教へる必要があるやうに思ひます。それで今日皆さんが幼稚園の事だけで無く、家庭に向つても保育法の普及と云ふ事に付て御意方になりましたならば、餘程有益であらうと思ひます。(完)

◎御飯の炊き方(山下たかね氏)

△米のとき方

米は磨いで直ぐ炊くのは好くない、朝飯は前夜晝飯は朝磨ぐ様に一食位前に準備して置くのが必要である、そして洗つた米は夏は二時間位、冬は三時間位も水に浸して後能く水を切つて炊くのです、併し新米を水に浸くとは能くない、此く水に浸した米は御飯を炊く時、少し水加減の控へるの

- 一、粘りがあつてうまい。
- 二、煮熟が完全だから消化し易い。
- 三、浸さない米の御飯に比べて一割半増える。
- 四、薪に二割も得がある。
- 五、御飯の出来る時間が早い。
- 六、御飯の腐りが遅い。(家庭の禿)

幼児の遊戯は如何に指導す可きか

後藤ちとせ

本篇は同氏が嘗つて本會幹事任職の頃折々に物せられたるもの、由にて久しく筐底に藏されしを頃者乞ひ得て誌上に掲ぐることを得たり。保育事業に熱心なりし同氏の思想は確かに會員諸君を益するもの多からんと信す。

普通遊戯とか子供の遊びとか申すのは子供の遊び全体を指すので即ち保育事項全体を含んだ廣い意味でつかつたので御座います、特に幼稚園遊戯と云ふのは四つの保育事項即ち談話、唱歌、手技、遊戯の中の遊戯で所謂狭い意味の遊戯を指すのであります。従つて遊戯と云ふ言葉の中には廣狹二様の意味がある譯でありますが是から御話致さうと思ひますのは即ち狹義の遊戯を云ふのであります。

遊嬉の種類
小學校令施行規則中幼稚園に關した規則中に遊嬉ハ分チ隨意遊嬉及ビ共同遊嬉トナス

隨意遊嬉ハ幼兒ヲシテ各自ニ運動セシメ共同遊戯トハ歌曲ニ合ヘル諸種ノ運動等ヲナシメ心情ヲ快活ニシ身体ヲ健全ナラシメンコトヲ要ス

とありませうが此規定中の所謂隨意遊嬉は雨天ならざる折は主として室外即ち遊園に於て致させますので保育者仲間では外遊と申し時には室外保育等とも申して居ります之に反して其の所謂共同遊嬉は主として遊嬉室内で致させますので之れをば内遊と名づけ他の唱歌談話手技等室内に於て行ふ保育事項と共に室内保育と申す折も御座います而し茲に注意すべきは該隨意遊嬉即ち幼兒をして随意に遊ばせる場合に於ても幼兒は生れつき社交的のもので御座いますから各兒單獨に遊ぶと云ふ事はありません多くは三々五々打ち連れ、時には二十餘名も共同して一遊戯に耽けることもあり、且つ幼稚園が家庭教育で得られぬ教育的價値を有するのば實に同年輩の多くのお友達と一緒に遊ぶ遊戯の間種々有益な結果を得ることにあるのですから隨意遊戯の際でも成る可く多數の幼兒等

が仲睦まじく共同して遊ぶ様に導かねばなりません。又所謂共同遊戯と云ふ語は保育者が指導の本で組織立つた遊戯をさせることでありますけれども子供が勝手に共同して思ひ付きの遊びを致すのも共同遊戯と云へないこともありません。其れでも隨意遊戯なる語に共同なる言葉を對せしむるのには當を得て居らぬのではあるまいか共同と云ふ語には單獨とか孤獨とか云ふ語が對し隨意といふ語には保育者指導の下に行ふ遊戯即ち指導遊戯などいふ言葉を用ふるのが適當かと思はれます。で茲に幼稚園遊戯をば隨意遊戯指導遊戯の二種に分つことに致し又保育者間の日用語としては前者を外遊、後者を内遊と申すを便利上許す事として兩者の得失を述べませう。

隨意遊嬉は幼兒等が其の衝動により何等目的を自覺する事なしに致す遊嬉言ひ換へれば幼兒等は單に遊び度いから遊ぶので、何も遊んで身体を健康にしようと加心的發達を促さふとかいふ考をもて遊ぶのではない唯心の行くがまゝに己か欲する所に從て遊びまはるのでからこの事に倦めばその

事にうつると云ふ様に自由に自分の好にまかせるので従て終日わそんで居ても倦きると云ふ事かありませぬ而し素より子供の事ですから時には悪戯に陥る事もあり毒にも薬にもならぬ様な遊びをする事も多く隨意遊び全体が必ずしも教育的價値を有して居るとは云へませぬ之に反して指導遊嬉即ち保育者指導のもとで共同で致させる遊戯は保育者が幼児保育上の或る目的により考案し順序立てた或る形式の遊嬉を教育的方法でやらせるので御座いますから其間には我自ら規律もあり隨意遊嬉のなるべく幼児に自由を與へると異り例令出來得る丈束縛の感を起させぬ様注意はするものゝ幼児等は保育者の意志に服従し保育者の意によりて左右せられ活動するといふ事になるのです即ち隨意的遊嬉は幼児の方から申すと自動的で指導遊嬉は受動的であると申して差支がありますまいで兩者とも必要な譯で御座いますか指導遊嬉は其材料方の適否によつては幼児をして當に興味を起させぬ許りでなく疲勞倦怠の苦痛を與へ不規律喧噪に終る事も少なくない様見受けられますから保育者

は十分同遊嬉の研究をすると共に實地練習を怠つてはなりません
 扱て指導遊嬉中には如何なる種類があるかと申すと先づ其形上から分ければ

行進的のもの（プロネードの如き渦巻の如

き行進を基礎として作られたるもの）

靜止的のもの（探物の如き雷の如き全身の

位置を變せずに行ふもの）

行進的靜止的兩様相混したるもの（右兩者

の混同せるもの）

競争的のもの（此種のものゝ幼稚園にては

上ノ組に至りて少しく喜はるゝのみ）

の四つになりませうが行進的の遊嬉中にも圓形を

なしたるもの直線形に進むもの渦巻形になれるもの等

ありませうが遊嬉の成り立の上からは

唱歌の意義を遊嬉に表はしたるもの

遊嬉に唱歌を附けたるもの

全く唱歌と關係なきもの

等にも分たれ遊嬉の効果上よりは

主として身体發達に有効なもの

主として躑け上に効あるもの
主として知育に重きを置けるもの
の三つに更に遊嬉者即ち幼児の上からは

男児に適したものである

女児に喜ばるゝもの

の二様にも見る事が出来ませう但し最終の男女児
云々の區別は幼稚園児童に取り分けて區別する必
要は多くの場合認めませせんが小學校に移る近くに
興味をつけるため男女児に別々のもの例へば男児
には軍ごつて女児には赤十字の遊嬉などをさせる
のは甚だ面白がる事です

隨意遊戯

從來の幼稚園の缺點を數へ擧ぐれば随分多いで御
座いませうが直接幼児に悪影響を及ぼした缺點中
の缺點といふのは室内保育殊に恩物に重きを置き
過ぎに手藝其他に保育事項の成績の美麗纖巧に
して是がまわ幼児の手に作られたのかと驚かるゝ
様な巧な成績物を出す事に熱中し活氣満ち満ちた
る幼児を室内に閉じ籠めて六ヶ敷御稽古に是を苦
しめ其精神を疲らし早熟の弊に陥らしめて更に隨

意遊戯の室内保育に勝れる價值ある事を認めな
つたのにあるのす
抑も『幼児の身体の全機關は譬へば壓搾せられた
發條の如く装置されたもの即ち十分成長して
大人が小児の小さき體軀の中に壓搾してつめ
込まれてゐるので彼は其壓搾せられたものを
段々押し擴げて遂に成人の体格を具へ成人の
精巧熟練を具へる様になり行くのである此目
的を達する爲に彼等は飲食し睡眠し運動する
ので其隣に目を開いて天井を見る時より寢床
に就いて催眠の守歌を聞く時に至るまで輪を
廻し鞣を投げ或は競争或は鬼ごつこ或は角力
といろいろに休む時の無いのは實に此目的の
爲である彼等はそはせずには居られぬ否それ
を恒へて居てはならぬのである』とはテーロ
ルとかいふ西哲の其著『兒童の研究』中に書かれた
言葉であるそうですが幼児が日中絶え間なく活動
して居るのは實に此理に基因するので之を束縛し
之を閉ぢこめ恰も大人の細かさ手細工に等しき六
ヶ敷げなる物事に登園中従事させ様といふのは實

之を閉ぢこめ恰も大人の細かさ手細工に等しき六
ヶ敷げなる物事に登園中従事させ様といふのは實

に幼児發達を妨害するもの恰も暖き日光の下に威勢よく成長せんとする樹木！他日は天をも摩するに至るべき性質を具へたる其樹木を繩を以て曲げ竹を添へて撓め遂に不自然なる一小盆栽に終らしめんとする様なもので御座います。幼兒をして其活動を十分ならしめ智徳体の三育上遺憾なき發達をなさしめ殊に學齡前最も著しき身体の發育を十分に助長せしめんには彼等をして保育者の行き届きたる保護のもとに自由活潑に活動し運動させるが何よりの必要で御座います。初て此必要を満足せしむるものは何か是れ實に隨意遊嬉を措いて他に最適法を認め得ぬので御座います。隨意遊嬉は小學校の遊歩時間とは全く性質の異なるもの保育者は此間最も熱心なる注意を以て彼等の可弱き身体を保護し管理すると同時に各兒の個人性をも觀察すべく自然界にも親しましむべく幼兒間の交際をも圓滿ならしめつゝ彼等をして危険なき限り害なき限り十分なる活動をなさしめねばなりません。地價高き下の幼稚園并に舊式の幼稚園には狭き遊園の設けすらなく全保育時間中を室内で過ごさ

しむるは往々見受ける所ですが斯る幼稚園は實に保育法の根本をあやまれるもの室内保育は隨意遊嬉に疲勞せんを虞り之に休憩を與へんがために全保育時間中適當に配合挿入せられたものとまで見做しても宜しいので御座います。で次に吾「遊園」並びに「隨意遊嬉」中に於ける保育者の心得につき思ひ出づるまゝを御話しいたしませう

遊園につきて

前述の如き隨意遊嬉の必要を認められた幼稚園では大抵全保育時間（一日五時間以下）の半以上は遊園で資やさせるので御座います。遊園の設備の完全であるか否とは幼兒心身の發育上大の關係あるべきは當然の事で御座います。先づ其廣さに就いては例の施行規則中には

遊園 幼兒一人ニツキ一坪ノ割合ヲ以テ設ク
ルヲ常例トス

とありますが出来る事なら更に十分の場所を取つて園内には築山あり立木あり魚の池中に躍るあり噴水の涼しげに舞ひのぼるあり四季折々の花咲き匂ふ花壇には胡蝶蜻蛉の飛びらがふあり緑深き菜



園には日常有用なる野菜類の發育せるあり、彼方の檻には鳩鶏兎扱ては何かと愛らしき禽獸の遊べるあり此方の芝生には草摘む少女ベンチに倚りて歌うたふ三人四人、臺には鞠つく姿、砂場には城廓築く愛らしの水兵服、旗を肩にし軍ごつこに得意然たる男兒の一群など、夏は砂塵に身を汚さず冬は霜どけに靴を穢さす思ふまゝに思ふ事して遊び廻れる其間に彼等は植物を知り動物に親しみ自然界の子として十分なる發育を遂ぐると共に其心情を純美ならしむる極樂園でなければなりません殊に庭園に乏げしき都住居をなす幼兒等を保育する幼稚園ではせめて庭園中丈にても廣々とした場所清浄なる空氣の中で自由に活動せしめ且つ動もすれば缺乏せんとする自然物に對する基礎的觀念を此うるはしき遊園内に養はしむる事つとめなければなりませんフレイベル先生が嘗て都會は幼兒保育に適せずとして幼兒を率ゐて態々田舎に移られた美譽は誰もよく知らるゝ所、希くは都市の幼稚園をして都會中の田舎、紅塵中の淨土たらしめんことを、

隨意遊嬉中に於ける保育者の心得
扱て斯る美しき遊園が出来たとして保育者は如何にして幼兒を此處に遊ばしむべきか即ち保育者が隨意遊戯中心得べき事々を左に擧げること致しませう

(イ) 保育者は幼兒の友たると同時に其が保護者監督者たる事を忘れぬこと

單に幼兒の友たらしむ事にとむればよく幼兒に親む事は出来ずが或は保育者に相當に必要なる威嚴を損じて幼兒の我儘を増長せしめ或は遊びに熱中して身体上の危険を未發に防ぐの餘裕なきに至る等保護監督の目的を忘れ又保護者たり監視者たるに偏すれば幼兒等は保育者を敬して遠ざけん事を思ひ兩者間賢母良兒の關係を保つ事が出来せんから保育者は常に此注意條件を心として遊園に立たねばなりません但し始めて保育者となりし新參りの保母達は宜しく先づ幼兒等の友となり彼等に親近して兩者の愛情厚きに至りて後保護監督を兼ね行はん事これがとるべき順序で御座

いまず古諺にも「信ぜられざれば諫めず」とある通り保育者が其感化を十分幼児に與へんには先づ親しみ信じられん事を先きにせずばなりません

(ロ) 常に受持全体の幼児に注意すべき事

五六人の子供の群にのみ立ち交り他の幼児は今何處にどうして居るのやら少つとも關係なしでは何時どの兒が怪我をするか遊園どの隅に惡戯が行はれて居るかも知りますまいでよく全体の幼兒に目を配り幼兒總てが温き保姆の保護のもとに遊んで居る様でなくてはなりません、
有害な遊びを除くの外は故なく幼兒を束縛せず成るべく自由に遊ばしむること
茲に有害な遊びとし禁止すべきは

- 衛生上有害な遊び
- 危険な遊び
- 賭事に類した遊び
- 陋劣野卑な遊び
- 残忍酷薄な遊び

他兒の妨害となる遊び

等を指すものです。保育者が臨機判断して保育上害ありと見たなら例令幼兒が喜べる遊びでも早速相當な忠告を以て止めなければなりません。但し此際或る特別兒に對する外は譴責叱咤の言を用ひぬ様注意すべきです。

(二) 共同して遊ぶ事を喜ぶの良習慣を養ふ事

已に言語をわやつり得る程に成長した幼兒は殆んど飢え渴して居るかの様に話對手を求むるものです。殊に幼稚園に入る年齢にもなれば同年輩の友垣と遊ぶのが何より面白げに見え幼兒と云ふ幼兒は常に數人相集つて遊んで居ますが又能く喧嘩をするもので一つの物を取り合つて争ひを起したり自分の嫌いな兒は仲間入りさせなかつたり他兒の所有物を欲しがつて強い兒になると奪ひ取たり意に従はぬ者は除名したり黙つて見て居ります。是れ幼き色々な裁判事件が起つて來ます、是れ幼兒等は元來事物に對する欲望が強いのに根が正直で飾り氣がありませんから思考なしに遠慮

なしに其心を發表するので斯る利己的の行爲を敢てする場合が多いのですから保育者は物やさしき忠告説諭等により漸次禮讓の美德を養はしめ常に共同の樂を樂とする良習の養成につとめねばなりません

(ホ) 遊園は常に清潔にして且つ危険物なく美的にして幼児の心情を優美化せんことに注意すべし、

掃除はよく行届き設備品の破損せる物等なく花壇の手入動物の飼養等は幼児等と共に親らし自然物に對する愛情美感を養ふが必要なりと

(ヘ) 天候の如何により隨意遊嬉時間の長短を斟酌すべきこと

春や秋の暑からず寒からぬ季節には比較的外遊の時間を多くし酷暑酷寒の折等は幾分斟酌して室内保育の敷を増す際注意すべく風荒ぶ日雨降りしきる折には遊園に出づるを見合す

(ト) 幼児心身發達の度即ち普通年齢の異なるにより

て外遊時間に長短あるべきこと
幼児發達の度合は一年違ひと申しても著しき差違のあるもので御座います
外遊時間を多くしもう小學校へ移つる頃になりましたら漸次室内保育時間を長くするが宜しう御座います

(チ) 遊園内の規律を守らしめよ

自由と服従とは保育上必ず伴はしめなければならぬものですから一方自由に活動せしむるに注意すると同時に他方定れる園内の規律には幼児ながら何處までも従はせなければなりません例へば樹木の枝を折るべからずとか、砂場の砂は他の所に持ち出さぬ事とか柵の向ふには行くべからずとか、色々心要上から保育者が定めたる規則には必ず従順に服する様心掛けさせねばなりません然らざれば粗暴亂脈輕卒虛偽等厭ふべき惡習を醸すに立ち至ります但し注意すべきはなるべく少なき規則の下に安全に故障なく遊び得る様遊園設備に注意し且つ守り難き規律命令を出さぬ様心す

(リ) 自洽の精神を養はしむべきこと

随意遊び用として貸し興へたる玩具の出し入れ、所有品の始末、身廻りに關したる用事等は成可く各自に親らせしめ自洽の良習をつくべきです

(ヌ) 男女兒の間に自然性質の差違の表れて來る迄は随意遊嬉中も此區別を立てる必要のなき事友情養成に注意すべきこと

例へば借りたる物は返すべきこと、か承諾した頼みは必ず爲てやるべき事とかお友達の悪事を挙げぬ事とかを始め友に對する義務並に組に對する同情心を起させて公德心の基礎を作つてやることに必要です

(フ) 幼兒の遊びに注意して其が中より指導遊嬉の材料を見出すにつとむること (前述保育材料選擇の節参照)

(ワ) 各組の交友を計るべきこと

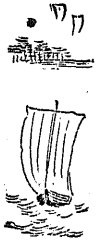
二組以上ある場合には随意遊戯の際各組相親和せしめ上ノ組の兒は下ノ組の兒を痛はり年

(カ) 少の兒は年上の兒に讓歩するの良風を養はねばなりません
随意遊嬉中特に幼兒等が個性の觀察に留意する事

幼兒個性の研究は決して讀書のみに依つてなし得るものではありませぬ小兒に關する心理學書を読むと共に幼兒生活實際の觀察を怠つてはなりません即ち其の他兒と語れる際其室内保育に於ける際或は食卓につける時或は鳥獸に對せる時等幼兒活動の總てを觀察し其結果を統括して茲に始めて其一般を窺ひ知るの由御座いますすが總ての場合中最も多く最も無遠慮に彼等が特性を表出するのは實に其の自由活動即ち随意遊嬉の時にあるので御座いますから此機會を利用して保育上最も必要なる個性觀察につとむべきで御座います

(コ) 過ちて怪我したる場合の處置法を心得よ
母と乳母とが附添ふて居ても怪我をする時が有りますから況して少數の保育者が多數の幼兒の保護に當る場合には十分注意をして居て

も目の前で轉蹶することもあり走り合へる兩
 兒衝突して美事な疣を出す事もあります而し
 怪我をするだらうと云ふて幼児の運動を矢鱈
 制限するの宜しからず或る方などは少しは
 怪我もするが注意深くつて宜しとさへ云ふ
 をも聞かす位ですから十分に見張つて居て
 それで怪我を致した折はどうも致し方があり
 ません唯此場合には其救急法を手落なく行ひ
 出來得る丈け完全な手當をして家庭の怨を招
 かぬ様否よくまわらんなに親切にして下すつ
 たと思はせる位までにしてやるべきです、で
 幼稚園には一通り應急用の藥品や繃帶脱脂綿
 毛布小枕寢臺或は長椅子の様なものを用意し
 保育者は一通り救急看護法を辨へて居り出來
 る事なら近處の醫師を隨時招き得る様に致し
 て置きたいもので御座います



幼稚園問題に就いて (承前)

和田實

手は前號に於て幼稚園問題に關する一二の問題
 に關して意見を述べた。所が夫れに就いて下谷
 なる形管氏より左の如き意見を送られた。方今
 名士の言論に非らざれば人は一顧の勞をも快く
 せざる時に當て興味なき學術的言論に對し斯く
 も熱心なる意見を發表せらるゝことは斯道の爲
 め如何にも悦ばしき限りと云はねばならぬ。尤
 も御意見中には小生の記述の粗漏であつた爲め
 に多少誤解された所もある様に思ふが先づ其書
 面を左に掲げて次に小生の意見を述べて見やう
 婦人と子ども第八卷第十一號紙上幼稚園問題なる
 一文を拜讀しました平生職務として従事せる所の
 ものなれば最も愛誦三復しました之を愛誦三復す
 るの至り二三の未だ充分領解し難き點も生じまし
 た之を不問に附せんか必竟斯業に忠實ならざるの
 至りかと考ました即ち夫等の點に就て一應開陳す